

# 再生に向けて

2004年11月12日  
西武鉄道株式会社

# 今後の課題への取り組み

西武グループ経営改革委員会」  
におけるグループ再編



積極的な参画  
主体的な意思

西武鉄道としての改革の意思



事業  
ポートフォリオ  
の  
抜本的見直し

次頁



コーポレート・  
ガバナンス  
の整備

コンプライアンスの  
強化  
透明性の確保  
意思決定システム  
の見直しなど



ステークホルダー  
との  
コミュニケーション

広報活動の充実  
IRの強化  
CSの重視 など



企業風土  
改革

社是の見直し  
コーポレート・  
アイデンティティの確立  
若手・女性の  
積極的な登用 など

# 事業ポートフォリオ抜本的見直しの基本的な考え方

「**峻別と集中**」をキーワードに、今後のグループの方向性のもとで、事業を**コア事業**、**準コア事業**、**非コア事業**に分類する。

沿線価値向上等に資する部分もあるが、収益性が相対的に低いもの。または、収益性は高いがコア事業との関連性、シナジー効果が薄いもの  
事業内容を精査し方向性を決める。

沿線価値の向上に必須であるもの。または現状・将来にわたって収益性の高いもの。  
成長戦略に基づき、経営資源を集中させる。

コア・準コア以外の事業  
具体的にスピン・オフなどを検討する。

